

1. はじめに

学園は今後も建学の精神と伝統を継承して「十年先、二十年先に役立つ人造り」のため、常に将来を見据え時代を先取りした教育体制の構築に尽力しつつ、着実な発展を続けていくための教育研究環境の整備充実に一層の力を注いだ。

2. 大学について

基本方針

大学創立20周年(平成7年)にあたり、学園創立以来の建学の精神と伝統を受け継ぎながら、男女共同参画、生涯学習、国際化社会、障がい者や環境にやさしい社会といった時代と社会の要請に応え、大学の理念を「違いを共に生きる」と定め、この理念を具体的に実現するため「地域に根ざし、世界に開く」「役立つものと変わらないものと」「たくましさやさしさを」の三つのテーマを掲げ、男女共学体制に移行した。

その後、この理念にそって、学部、研究科の設置、改組を進めるとともに、学生の学びの質を充実するために、常にカリキュラムを検討し、教育研究体制の改善充実に努めてきた。

また、地域社会に貢献し連携をさらに図るため諸機関の附設を行ってきたところである。

平成30年度においても、この基本方針の下に、次のような事業に取り組みを行った。

(1) 総合英語学科の開設

国際化が急速に進む現代社会で、これまでの「総合的に英語を教育する学科」のポリシーを引き継ぐ一方、社会のニーズに応え、高度で実践的な英語運用能力と鋭い国際感覚を備え、多様な国際社会に通用する職業人を育成することをめざし、総合英語学科を開設した。

- | | |
|----------|---------------------|
| 1 設置する学科 | 文学部 総合英語学科 |
| 2 設置時期 | 平成30年4月1日 |
| 3 定員 | 入学定員 100名 収容定員 400名 |

(2) ビジネス学部の再編

ビジネス学部ビジネス学科のビジネスイノベーション専攻とビジネスアカウンティング専攻を合併して、現代ビジネス専攻とし、現代ビジネス専攻とグローバルビジネス専攻の2専攻体制とした。

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 入学定員 | 学科全体230人（現行通り） |
| 現代ビジネス専攻 | 170人 |
| グローバルビジネス専攻 | 60人 |

(3) 大学院研究科の新しい展開

2019年度より現行の研究科の専攻および学生定員を変更することなく、学部の専門

教育からの流れを踏まえた、各研究科の専修を明確に打ち出し、研究科修了生への専門職への具体的な展望を描き、本学大学院研究科の高度専門教育をわかりやすく受験生および社会に認知してもらう方向を目指す。併せて、大学院進学のための経済的負担の軽減化、在籍学生の学部教育活動への任用、大学院修了後のキャリア支援、さらに広報活動など、その在り方や運用について見直しを図る。学納金の軽減は平成30年度から実施した。

(4) 学生証・職員証・施設利用証等のICカード化

両キャンパスの入退出管理システムを更新し、従来の磁気カード使用の読取不良を改善し、セキュリティの更なる向上を図るためにICカードによる運用切換をおこなう。
(平成31年4月運用開始)

(5) 第3号基本金の組入れについて

「大学奨学基金」及び「大学国際交流基金」の第3号基本金を運用して行う事業が、学生支援という観点において類似していることを踏まえ、これらを1つに統合することで、継続的な保持運用を確実なものとした。

(6) 留学生別科の星が丘キャンパス移転に伴う改修工事及び備品等を整備

2019年度後期に留学生別科の星が丘キャンパスへの移転に係る留学生別科教室及び非常勤講師室（合同研究室）の改修、機器備品の整備・移設を行った。

(7) 長久手市片平二丁目の土地購入

長久手キャンパス12号棟南側の土地（5,691.49㎡）を購入した。
住所 長久手市片平二丁目1401～1409番

(8) 教育研究体制の充実

教育研究体制の充実のため、一般教室の操作卓のAV機器のリプレイス、学生食堂に無線LAN環境の構築、独立型の屋外喫煙所の設置、学生証・職員証・施設利用証等のICカード化、障がい学生支援、防災対策の強化、1号棟の建替及び新学部棟建設のための積み立て（2年目）、ソシオメディアラボのリプレイス、人間情報学部の教育機器とデータ解析ソフトの更新及び整備、健康医療科学部視覚科学専攻の教育機器の更新及び整備、12号棟の各種定期点検等、学校施設の非構造部材に係る施設点検、喫煙パーテーションの撤去及びスロープの設置、国際交流会館系統の高圧幹線停電緊急対応工事及び新高圧幹線引込工事、図書館南棟一般教室から研究室への改修工事、コミュニケーションホール（学生食堂）の改修工事、クリニックの眼科及び内科の機器更新、淑友館の補修・点検・清掃工事、学園全体のWindows10対応等のため各種システムの更新等を行う。